

平成29年の輝かしい初春を迎え、市民の皆さまに謹んで新年のお慶びを申し上げます。また、昨年は、市政に対し温かいご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

私は、市長に就任し2回目の新春を迎えましたが、忙しい日々で瞬く間に一年が経過したように感じていきます。

昨年を振り返りますと、4月には、熊本県、大分県を中心に甚大な被害をもたらした熊本地震が発生しました。大村市としても、迅速に支援体制を整え避難をしている方などの支援にあたり、今もなお職員の派遣を継続しているところです。市民の皆さまからも救援物資や義援金などご支援をいただきましたことに、心からお礼を申し上げます。

また、10月には、ねんりんピック長崎2016が開催され、大村会場には全国から1万6千人の皆さまにご来場いただき、盛会に終えることができました。大会期間中はもちろんのこと、準備期間においても「大村らしいおもてなし」に向けて多くの市民の皆さまに

ご協力いただきました。このことは、大村市の「市民力」の結集であり、出場された選手をはじめ関係者の皆さまから、お褒めをいただきました。誠にありがとうございました。

さて、本年は、昨年策定しました本市の将来像とその実現に向けたまちづくりの指針となる、第5次大村市総合計画の実行に全力で取り組んでまいります。市民の皆さまも「一歩行きたい、働きたい、住み続けたい」しあわせ実感都市「大村」の実現を目指し是非お力をお貸しくください。

引き続きこの一年も、市民の皆さまの声を聞いて、語り合うことを心掛け、公平で公正な市政に努め、市民総参加、オール大村でのまちづくりに取り組んでまいります。

結びに、本年も変わらぬご指導並びにご協力を賜りますとともに、皆さまにとって輝かしい希望に満ちた一年となりますことをご祈念申し上げます。新年のごあいさついたします。

## 「しあわせ実感都市」の実現に向けて

大村市長 園田 裕史



# 謹賀新年



皆さまには、希望に満ちた新しい年の始まりを健やかにお迎えのことと心からお慶び申し上げます。また、日頃から、市政の推進や議会活動に対し温かいご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

議長に就任して2回目の初春を迎え、初心を忘れることなく、大村市のさらなる発展のために、引き続き努力してまいりたいと決意を新たにしております。

昨年は、地震や台風などの自然災害が猛威をふるい、特に、4月に発生した熊本地震は、熊本県、大分県を中心に甚大な被害をもたらし、改めて、災害に対する備えの大切さを痛感させられた年となりました。

現在、地方自治体は、急速に変化する社会情勢や自然災害への対応、人口減少・少子高齢社会の到来など、さまざまな課題に直面し、まちづくりのあり方そのものが大きく問われております。

こうした中、昨年、大村市は向こう10年間の市政運営の基本指針となる「第5次大村市総合計画」が、市議会の議決を経てスタートし、魅

力あるまちづくりに向けた新たな一歩を踏み出しました。

今後は、これまで以上に市民と行政、議会が一体となって、互いに知恵を出し合いながら、この総合計画を着実に進めていかなければならないと考えております。

私ども市議会といたしましても、大村市にとって「何が必要であるのか」「何をしなければならぬのか」を念頭に置き、皆さまの声をきめ細かく、かつ的確に市政運営に反映させるという重要な役割を、より一層果たしていかなければなりません。

今後とも、議会活性化に取り組みながら、皆さまの信頼と期待に応えるべく、議員一人一人がその責務を自覚し、大村市のさらなる発展のために、全力を傾けてまいる所存であります。

どうか、本年も市議会に対し、さらなるご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆さまにとつて今年一年が実り多い年でありますことを心からお祈り申し上げます。新年のごあいさついたします。

## 市民の声を的確に市政運営に届ける

大村市議会議長 村上 秀明



大村湾に昇る朝日を箕島大橋から望む